

活動レポート

事業委員会

文責：事業委員 齋藤克矢

事業委員会主催 技術研修会(日帰りコース)報告

1. はじめに

令和元年度の事業委員会主催の技術研修会(日帰りコース)を以下の要領で開催しました。

技術研修会の主な見学内容について報告します。

○日時：令和元年 7 月 26 日(金) 12:50 ~ 19:00

○見学先：ウポポイ(民族共生象徴空間)

～国立民族共生公園～の施工現場

○参加人数：28 人

○懇親会：さっぽろビール園

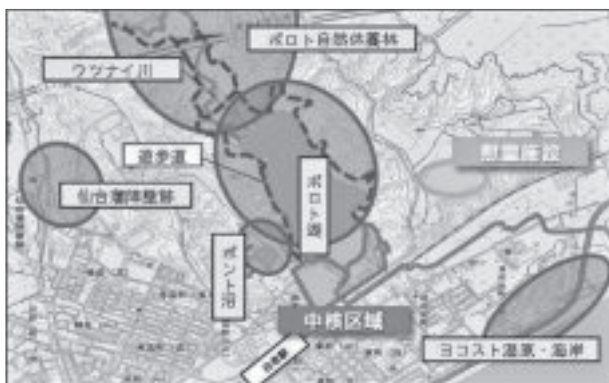
2. 事業概要

(1) ウポポイ(民族共生象徴空間)の概要

ウポポイ(民族共生象徴空間)は、アイヌ文化の復興と民族の共生を目的に、アイヌ文化復興等のナショナルセンターとして整備が進められております。

■位置：白老町ポロト湖畔

■主な施設：①国立アイヌ民族博物館 ②国立民族共生公園 ③慰霊施設



ウポポイ周辺地図

今回は、北海道開発局にて整備が進められている国立民族共生公園の施工中の状況を見学しました。

(2) 国立民族共生公園の整備概要

国立民族共生公園は、自然環境を活かしながら、

アイヌ文化の多様な要素を一般の人々が体験・交流する体験型のフィールドミュージアムとして整備が進められています。また、多様な来園者が快適に過ごせる魅力ある空間を形成するための施設として、①体験交流ホール、②体験学習館、③工房、④伝統的コタン、⑤チキサニ広場、⑥芝生広場、⑦エントランス棟が配置されます。なお、公園内に整備される国立アイヌ民族博物館は、先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館となります。



国民民族共生公園計画図

3. 見学内容

(1) 事業説明

札幌より白老町の現場までは貸切バスにて移動しました。施工現場の見学に先立ち、白老町コミュニティセンター内のホールにて事業概要の説明をいただきました。説明は北海道開発局事業振興部都市住宅課の濱下事業専門官にいただきました。



濱下事業専門官による事業説明

(2)公園見学

①体験交流ホール

アイヌ古式舞踊やムックリ演奏など来園者が一体となって楽しむことができる空間として整備が進んでいます。



体験交流ホール

②体験学習館

修学旅行生をはじめとする団体の来場者を主たる対象とし、伝統楽器のムックリ演奏体験やアイヌの食文化に触れる試食体験ができる施設となります。



体験学習館

③ウツナイ川河畔

公園内を流れるウツナイ川では、湿地域で生長する植物の保全、再生湿地域の景観形成・アイヌに関わりのある植生配置等、湿地環境の創出が図られています。



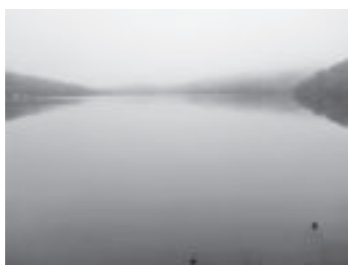
ウツナイ川河畔

④国立アイヌ民族博物館

アイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進する展示・研究拠点として文化庁により整備が進められています。屋根・壁には曲線を用いずに緩やかな折れ線の組合せにより周辺環境との調和を図る景観を創出しています。



国立アイヌ民族博物館



幻想的に写るポロト湖



説明を熱心に聞き入る参加者



博物館をバックに全体集合写真

4. おわりに

開催前の週間天気予報では、研修会当日の白老地方は雨。当日朝の予報でも午後から雨と、雨の中での見学を覚悟していましたが、幸い雨が降ることなく、曇り空の涼しい天候の中で快適に見学することができました。見学後はさっぽろビール園の窓の多い開放的な会場にて、ようやく降り始めた雨を眺めつつ、美味しいビールとジンギスカンを堪能しました。

今回も、盛況のうちに無事見学会を終える事ができました。ご参加の皆様、並びに関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



懇親会の様子(さっぽろビール園)